

# 多言語対応・ICT化推進フォーラム 多摩

～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～

## 基調パネルディスカッション

「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた多言語対応」

## 出演者紹介

### 【パネリスト】



#### 岐阜女子大学 特任教授 **河原 俊昭 氏**

東京大学文学部卒業、金沢大学大学院博士課程修了（社会環境科学博士）  
2016年4月より岐阜女子大学特任教授（現在）。**言語政策、多文化主義、  
語学教育**の分野で多くの著書や論文を発表し、日本言語政策学会の学会誌の編  
集長を務めた。著書に『**自治体の言語サービス**』（春風社）、『**外国人住民への  
言語サービス～地域社会・自治体は多言語社会をどう迎えるか～**』（明石  
書店）等。



#### 弘前大学 人文学部 教授 **佐藤 和之 氏**

弘前大学大学院教授。地域社会研究科で**地域言語行動論**を担当。社会の構成  
員が混在化する地域の言語変容研究を専門とし、『**やさしい日本語**』研究はその一  
環。地域社会に迎えたさまざまな国からの住民を情報弱者にしないための**減災研究**  
に取り組む。2000年に『やさしい日本語』研究で**消防庁長官賞と村尾学術奨励賞**  
（神戸に貢献のあった研究に与えられる賞）を受賞。自治体・学校等への情報提供  
や被災地支援などの活動を行っている。



#### 早稲田大学教育学部 准教授 **ペート・バックハウス 氏**

ドイツ出身。デュースブルク-エッセン大学（ドイツ）で大学博士。2005年9月より  
ドイツ日本研究所専任研究員。専門分野は**社会言語学、言語変化、会話分析、  
文字・表記**。2010年4月より早稲田大学教育学部英語英文学科准教授。  
社会言語科学会等所属。著書に『**日本の言語景観**』（三元社）等。

### 【コーディネーター】



#### みずほ総合研究所株式会社 調査本部 経済調査部長 **太田 智之 氏**

1995年京都大学大学院農学研究科修了。富士総合研究所、日本経済研究セン  
ター、財務省財務総合政策研究所等を経て、2012年7月みずほ総合研究所ニ  
ューヨーク事務所長。2015年8月より現職。主に**マクロ経済、経済政策**の分析を担  
当。著書に『**デフレ不況の実証分析**』（2002）東洋経済新報社、『**日本経済の明  
日を読む**』（2008）東洋経済新報社、『**中国発世界連鎖不況**』（2016）日本  
経済新聞出版社（いずれも共著）等。